

第1回荒川区男女共同参画社会推進計画策定委員会における主な意見

意見の概要と考え方

基本目標1 人権の尊重と多様な生き方を認め合う意識を高める

意見の概要	意見に対する考え方
児童相談所で保護された子どもに、親によるパワハラや不理解が通ることなく是正されていく社会を希望する。	「子どもの権利擁護・意識啓発の推進」として反映 【基本目標1-1-(2)】
性別に基づく固定的な役割分担意識の解消には、幼少期からの啓発が重要である。現在人権擁護委員が小中学校で実施している「人権教室」について、幼稚園・保育園にも広げていけるとより意識啓発を推進できる。	○「あらゆる機会を活用した広報」において、様々な年代に応じた適切な広報・啓発として反映 【基本目標1-2-(1)】
○マザーズハローワークの相談者の多くが、短時間労働を前提として来所する。 背景には、女性が家事、育児を担っており空いた時間に働くという考えがあるように思う。 固定的な役割分担意識の解消が、このような求職行動に変化をもたらすようになればいい。	○「男女共同参画の学習機会の提供」において、「男女平等に関する情報・資料の提供」「慣行や制度の見直しの視点に立った、講座・講演会の開催」として反映 【基本目標1-2-(2)】

基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進する

意見の概要	意見に対する考え方
-	-

基本目標3 全てのワーク・ライフ・バランスを推進する

意見の概要	意見に対する考え方
○ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている人が少ない。自分の人生をどう生きるか考える機会を提供するのはどうか。	○「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための仕組みづくり」において、「理解を深めるための講座・講演会の開催」を実施する際の参考とする。 【基本目標3-1-(1)】

○子ども食堂の運営にかかわっている。参加する子どもももちろんだが、活動する側にも活力となる活動である。	○「ひとり親家庭への支援」として反映 【基本目標 3 - 2 - (3)】
ワーク・ライフ・バランスは、本来的には「仕事 vs 生活」ではなく、仕事も生活もバランスをとり、相互の好循環を図るものであるはず。働き方改革などの法改正など、事業所にとって「迫られている」ことへの対応はきっかけになると思う。	「多様で柔軟な働き方の推進」として反映 【基本目標 3 - 3 - (1)】
小規模・高齢の事業主にとっては、取り組まないことへのデメリットが相当に大きくなければ取り組む理由はない。全体の底上げを図るには、積極的なところを後押しすると効果が出やすい。	「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○働き方の改革で、テレワークのための自宅改装費の補助等の実施はどうか。	○「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○女性の活躍推進にあたっては、女性もさることながら男性（経営層・管理職・社員）の意識改革が重要と考えている。	○「女性の活躍推進に向けた取組の支援」として反映 【基本目標 3 - 3 - (2)】
事業者が、ワーク・ライフ・バランスに取り組むには、生産性の向上が欠かせない。従業員教育や IT 導入など引き続き支援が必要に思う。	「起業・開業の支援」において、「区内企業への経営支援のためのフォローアップ事業の実施」として反映 【基本目標 3 - 4 - (3)】
地域活動においても生産性を意識し、効率的な運営を指向する必要がある	「地域・社会活動への参画に向けた仕組みづくり」において、「区民が参画しやすい活動の場の運営を可能にする仕組みづくり」として反映 【基本目標 3 - 5 - (2)】

基本目標 4 計画推進のための体制を整備する

意見の概要	意見に対する区の考え方

第1回荒川区男女共同参画社会推進計画策定委員会における主な意見

意見の概要と考え方

基本目標1 人権の尊重と多様な生き方を認め合う意識を高める

意見の概要	意見に対する考え方
児童相談所で保護された子どもに、親によるパワハラや不理解が通ることなく是正されていく社会を希望する。	「子どもの権利擁護・意識啓発の推進」として反映 【基本目標1-1-(2)】
性別に基づく固定的な役割分担意識の解消には、幼少期からの啓発が重要である。現在人権擁護委員が小中学校で実施している「人権教室」について、幼稚園・保育園にも広げていけるとより意識啓発を推進できる。	○「あらゆる機会を活用した広報」において、様々な年代に応じた適切な広報・啓発として反映 【基本目標1-2-(1)】
○マザーズハローワークの相談者の多くが、短時間労働を前提として来所する。 背景には、女性が家事、育児を担っており空いた時間に働くという考えがあるように思う。 固定的な役割分担意識の解消が、このような求職行動に変化をもたらすようになればいい。	○「男女共同参画の学習機会の提供」において、「男女平等に関する情報・資料の提供」「慣行や制度の見直しの視点に立った、講座・講演会の開催」として反映 【基本目標1-2-(2)】

基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進する

意見の概要	意見に対する考え方
-	-

基本目標3 全てのワーク・ライフ・バランスを推進する

意見の概要	意見に対する考え方
○ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている人が少ない。自分の人生をどう生きるか考える機会を提供するのはどうか。	○「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための仕組みづくり」において、「理解を深めるための講座・講演会の開催」を実施する際の参考とする。 【基本目標3-1-(1)】

○子ども食堂の運営にかかわっている。参加する子どもももちろんだが、活動する側にも活力となる活動である。	○「ひとり親家庭への支援」として反映 【基本目標 3 - 2 - (3)】
ワーク・ライフ・バランスは、本来的には「仕事 vs 生活」ではなく、仕事も生活もバランスをとり、相互の好循環を図るものであるはず。働き方改革などの法改正など、事業所にとって「迫られている」ことへの対応はきっかけになると思う。	「多様で柔軟な働き方の推進」として反映 【基本目標 3 - 3 - (1)】
小規模・高齢の事業主にとっては、取り組まないことへのデメリットが相当に大きくなければ取り組む理由はない。全体の底上げを図るには、積極的なところを後押しすると効果が出やすい。	「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○働き方の改革で、テレワークのための自宅改装費の補助等の実施はどうか。	○「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○女性の活躍推進にあたっては、女性もさることながら男性（経営層・管理職・社員）の意識改革が重要と考えている。	○「女性の活躍推進に向けた取組の支援」として反映 【基本目標 3 - 3 - (2)】
事業者が、ワーク・ライフ・バランスに取り組むには、生産性の向上が欠かせない。従業員教育や IT 導入など引き続き支援が必要に思う。	「起業・開業の支援」において、「区内企業への経営支援のためのフォローアップ事業の実施」として反映 【基本目標 3 - 4 - (3)】
地域活動においても生産性を意識し、効率的な運営を指向する必要がある	「地域・社会活動への参画に向けた仕組みづくり」において、「区民が参画しやすい活動の場の運営を可能にする仕組みづくり」として反映 【基本目標 3 - 5 - (2)】

基本目標 4 計画推進のための体制を整備する

意見の概要	意見に対する区の考え方

第1回荒川区男女共同参画社会推進計画策定委員会における主な意見

意見の概要と考え方

基本目標1 人権の尊重と多様な生き方を認め合う意識を高める

意見の概要	意見に対する考え方
児童相談所で保護された子どもに、親によるパワハラや不理解が通ることなく是正されていく社会を希望する。	「子どもの権利擁護・意識啓発の推進」として反映 【基本目標1-1-(2)】
性別に基づく固定的な役割分担意識の解消には、幼少期からの啓発が重要である。現在人権擁護委員が小中学校で実施している「人権教室」について、幼稚園・保育園にも広げていけるとより意識啓発を推進できる。	○「あらゆる機会を活用した広報」において、様々な年代に応じた適切な広報・啓発として反映 【基本目標1-2-(1)】
○マザーズハローワークの相談者の多くが、短時間労働を前提として来所する。 背景には、女性が家事、育児を担っており空いた時間に働くという考えがあるように思う。 固定的な役割分担意識の解消が、このような求職行動に変化をもたらすようになればいい。	○「男女共同参画の学習機会の提供」において、「男女平等に関する情報・資料の提供」「慣行や制度の見直しの視点に立った、講座・講演会の開催」として反映 【基本目標1-2-(2)】

基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進する

意見の概要	意見に対する考え方
-	-

基本目標3 全てのワーク・ライフ・バランスを推進する

意見の概要	意見に対する考え方
○ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている人が少ない。自分の人生をどう生きるか考える機会を提供するのはどうか。	○「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための仕組みづくり」において、「理解を深めるための講座・講演会の開催」を実施する際の参考とする。 【基本目標3-1-(1)】

○子ども食堂の運営にかかわっている。参加する子どもももちろんだが、活動する側にも活力となる活動である。	○「ひとり親家庭への支援」として反映 【基本目標 3 - 2 - (3)】
ワーク・ライフ・バランスは、本来的には「仕事 vs 生活」ではなく、仕事も生活もバランスをとり、相互の好循環を図るものであるはず。働き方改革などの法改正など、事業所にとって「迫られている」ことへの対応はきっかけになると思う。	「多様で柔軟な働き方の推進」として反映 【基本目標 3 - 3 - (1)】
小規模・高齢の事業主にとっては、取り組まないことへのデメリットが相当に大きくなければ取り組む理由はない。全体の底上げを図るには、積極的なところを後押しすると効果が出やすい。	「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○働き方の改革で、テレワークのための自宅改装費の補助等の実施はどうか。	○「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○女性の活躍推進にあたっては、女性もさることながら男性（経営層・管理職・社員）の意識改革が重要と考えている。	○「女性の活躍推進に向けた取組の支援」として反映 【基本目標 3 - 3 - (2)】
事業者が、ワーク・ライフ・バランスに取り組むには、生産性の向上が欠かせない。従業員教育や IT 導入など引き続き支援が必要に思う。	「起業・開業の支援」において、「区内企業への経営支援のためのフォローアップ事業の実施」として反映 【基本目標 3 - 4 - (3)】
地域活動においても生産性を意識し、効率的な運営を指向する必要がある	「地域・社会活動への参画に向けた仕組みづくり」において、「区民が参画しやすい活動の場の運営を可能にする仕組みづくり」として反映 【基本目標 3 - 5 - (2)】

基本目標 4 計画推進のための体制を整備する

意見の概要	意見に対する区の考え方

第1回荒川区男女共同参画社会推進計画策定委員会における主な意見

意見の概要と考え方

基本目標1 人権の尊重と多様な生き方を認め合う意識を高める

意見の概要	意見に対する考え方
児童相談所で保護された子どもに、親によるパワハラや不理解が通ることなく是正されていく社会を希望する。	「子どもの権利擁護・意識啓発の推進」として反映 【基本目標1-1-(2)】
性別に基づく固定的な役割分担意識の解消には、幼少期からの啓発が重要である。現在人権擁護委員が小中学校で実施している「人権教室」について、幼稚園・保育園にも広げていけるとより意識啓発を推進できる。	○「あらゆる機会を活用した広報」において、様々な年代に応じた適切な広報・啓発として反映 【基本目標1-2-(1)】
○マザーズハローワークの相談者の多くが、短時間労働を前提として来所する。 背景には、女性が家事、育児を担っており空いた時間に働くという考えがあるように思う。 固定的な役割分担意識の解消が、このような求職行動に変化をもたらすようになればいい。	○「男女共同参画の学習機会の提供」において、「男女平等に関する情報・資料の提供」「慣行や制度の見直しの視点に立った、講座・講演会の開催」として反映 【基本目標1-2-(2)】

基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進する

意見の概要	意見に対する考え方
-	-

基本目標3 全てのワーク・ライフ・バランスを推進する

意見の概要	意見に対する考え方
○ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている人が少ない。自分の人生をどう生きるか考える機会を提供するのはどうか。	○「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための仕組みづくり」において、「理解を深めるための講座・講演会の開催」を実施する際の参考とする。 【基本目標3-1-(1)】

○子ども食堂の運営にかかわっている。参加する子どもももちろんだが、活動する側にも活力となる活動である。	○「ひとり親家庭への支援」として反映 【基本目標 3 - 2 - (3)】
ワーク・ライフ・バランスは、本来的には「仕事 vs 生活」ではなく、仕事も生活もバランスをとり、相互の好循環を図るものであるはず。働き方改革などの法改正など、事業所にとって「迫られている」ことへの対応はきっかけになると思う。	「多様で柔軟な働き方の推進」として反映 【基本目標 3 - 3 - (1)】
小規模・高齢の事業主にとっては、取り組まないことへのデメリットが相当に大きくなければ取り組む理由はない。全体の底上げを図るには、積極的なところを後押しすると効果が出やすい。	「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○働き方の改革で、テレワークのための自宅改装費の補助等の実施はどうか。	○「多様で柔軟な働き方」において、「企業・労働者への多様な働き方の提案」を実施する際の参考とする。 【基本目標 3 - 3 - (1)】
○女性の活躍推進にあたっては、女性もさることながら男性（経営層・管理職・社員）の意識改革が重要と考えている。	○「女性の活躍推進に向けた取組の支援」として反映 【基本目標 3 - 3 - (2)】
事業者が、ワーク・ライフ・バランスに取り組むには、生産性の向上が欠かせない。従業員教育や IT 導入など引き続き支援が必要に思う。	「起業・開業の支援」において、「区内企業への経営支援のためのフォローアップ事業の実施」として反映 【基本目標 3 - 4 - (3)】
地域活動においても生産性を意識し、効率的な運営を指向する必要がある	「地域・社会活動への参画に向けた仕組みづくり」において、「区民が参画しやすい活動の場の運営を可能にする仕組みづくり」として反映 【基本目標 3 - 5 - (2)】

基本目標 4 計画推進のための体制を整備する

意見の概要	意見に対する区の考え方